

## 2022 年度

## 授業概要

科目名	地域理学療法学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (2単位)	配当学年・時期	理学療法士科3年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
行政、保健・福祉センター、介護老人保健施設、在宅、病院など地域社会を基盤に据えた理学療法のあり方について学ぶ。							
〔授業全体の内容の概要〕							
各領域で地域理学療法を实践されている講師による講義を行う。講義内容の順番は仮のもので変更有り。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
地域理学療法の現状と理学療法士の役割について説明できる。							
回数	講義内容						
1	地域理学療法総論						
2	広域行政における地域理学療法						
3	自立支援						
4	訪問リハビリについて						
5	訪問リハビリについて						
6	社会人基礎力とは 市役所の理学療法の仕事						
7	高齢化社会に対する事案企画						
8	民間企業に勤める理学療法士の可能性						
9	民間企業に勤める理学療法士の可能性						
10	地域理学療法 スポーツ						
11	地域理学療法 スポーツ						
12	地域でのリハビリについて						
13	地域でのリハビリについて						
14	地域でのリハビリについて						
15	地域理学療法 まとめ						
	定期試験						

## 【 準備学習・時間外学習 】

--

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
テキストは使用せず、適宜資料を配布する		

## 【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記試験で評価します。
-------------